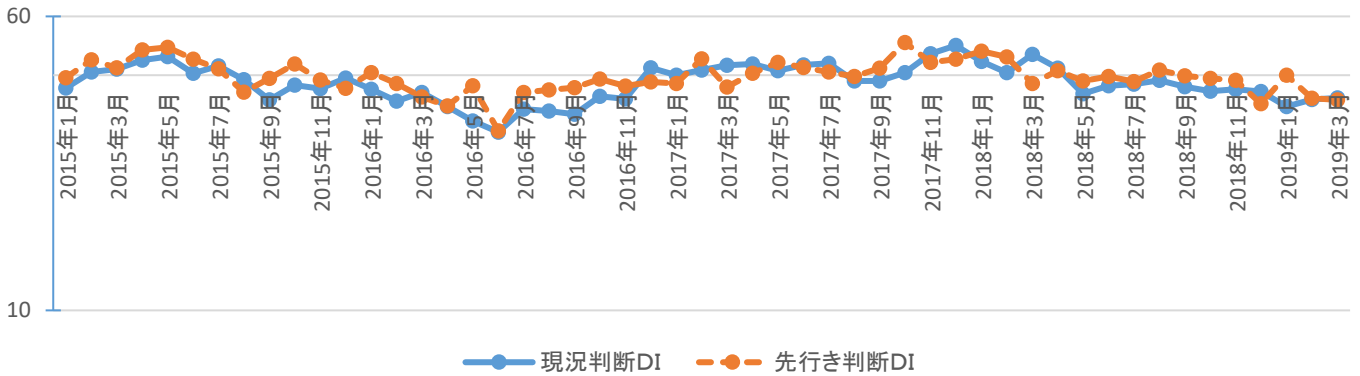


東海地域 現状・先行きDIの推移



◆東海地方 2019年3月 景気判断理由 一部抜粋

	分野	判断	判断の理由、追加説明及び具体的状況の説明、回答者属性
現状	家計 動向 関連	やや良	《販売量の動き》暖冬により、天候への警戒心が弱く社員旅行などの計画にも影響がなかった。個人旅行についてはゴールデンウィークの駆け込み需要が続いている。【旅行代理店（営業担当）】
		不変	《お客様の様子》戸建て住宅やリフォーム等に、消費税引上げ前の駆け込み需要がみられないこと、企業の設備投資やその他大規模改修等についても例月と変わらないため、余り大きな動きはみられない。【住関連専門店（営業担当）】
		やや悪	《お客様の様子》受注は増えているが、材料費、人件費共に上がり、利益率の悪い仕事ばかりが増えている。必要最低限度の発注しかない。まだまだこの状態が続く。【その他住宅【住宅管理】（経営者）】
	企業 動向 関連	やや良	《取引先の様子》自動車産業や部品製造等の客といろいろ話をすると、例年よりも若干景気としては良いようなイメージを持つ。販売量、製造量などが、比較の見込みとして多く発注されているということがあるので、例年に比べると若干ではあるが良いイメージがある。【金融業（従業員）】
		不変	《受注量や販売量の動き》消費財、生産財の大手荷主の物量に大きな変化はない。ただし、相変わらずスポット運行のトラックがつかまりにくく、客の要望に添えないことが多い。【輸送業（経営者）】
		やや悪	《受注量や販売量の動き》電材メーカーの需要が低迷しており、当社の出荷製品である電子材料向けプラスチック容器の需要も、多少落ち込んでいる。【化学工業（営業担当）】
	雇用 関連	やや良	《その他》大型連休を含む改元需要により、製造業の生産強化に加え連休中の旅行者数の増加が見込まれる。また、外国人労働者を積極的に受け入れる中小企業も増えている。【人材派遣業（営業担当）】
		不変	《雇用形態の様子》製造業の求人が力強さを欠いており、求人数も採用数も正社員が伸びていない。中国の景気減速等により、先行きを心配する声を聞くようになった。【職業安定所（所長）】
		やや悪	《採用者数の動き》求人企業の書類選考の通過率が段々と下がってきている。【民間職業紹介機関（支社長）】
先行き	分野	判断	先行きに対する判断理由、回答者属性
	家計 動向 関連	やや良	12月ほどではないが6月頃になると、3月にパーマを掛けた客の髪の毛が伸びて来店するため、12月ほどの来客数ではなくても、良くなると思われる。【美容室（経営者）】
		不変	民間の設備投資については、先がみえず景気の縮小が予想されるなかで慎重になっている。また、個人の新築住宅、大規模改修やリフォームなどについても、過去の消費税引上げのような大きな変動や客の動きがみられない。【住関連専門店（営業担当）】
		やや悪	アイスクリームや清涼飲料水の値上げは、企業努力だけでは無理で値段を見直しているが、やはり消費者は敏感で購入が減っている。それを補う材料がないので、しばらくは厳しいと思われる。【スーパー（店員）】
	企業 動向 関連	やや良	国内では2025年まで大規模イベントがある。また、この4月の改元発表はイベントとして話題性が大きく、国民にはわくわく感があるため、やや良くなると見込む。【通信業（総務担当）】
		不変	個人投資家は含み益が増えてこない動きづくりに、消費にも向かいづらい。個人投資家以外の個人は、所得増加の実感がなく消費に向かいづらい。【金融業（企画担当）】
		やや悪	消費税引上げを控え、消費マインドはますます冷え込むことが予測され、今年度も厳しい見込みと言わざるを得ない。【食料品製造業（経営企画担当）】
	雇用 関連	やや良	国内自動車販売数は今後上向きで推移すると予想され、海外輸出も、地域によってばらつきはあるが、おおむね上向きで推移すると見込まれる。【アウトソーシング企業（エリア担当）】
		不変	4月は転職希望者が停滞する時期でもあり、5月のゴールデンウィーク明け以降に、登録者の動きが再度活性化してくる見込みである。【民間職業紹介機関（営業担当）】
やや悪		求職者は、より条件の良い会社への流動化が進んでいる。企業は、給与改定や交通費支給等をせざるを得ないため、人件費が高騰し、体力のある企業と人件費を抑制せざるを得ない企業とでは採用充足率に格差が生じている。【人材派遣会社（営業担当）】	